虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

NO.334
2026年10月号

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい――



イラスト　長﨑 楓花さん

JAさっぽろ

JAさっぽろ青年部 × bisen

38作品一挙ご紹介！

産学連携から生まれる、手から手へつなぐ
「JAさっぽろの農業」のカタチ

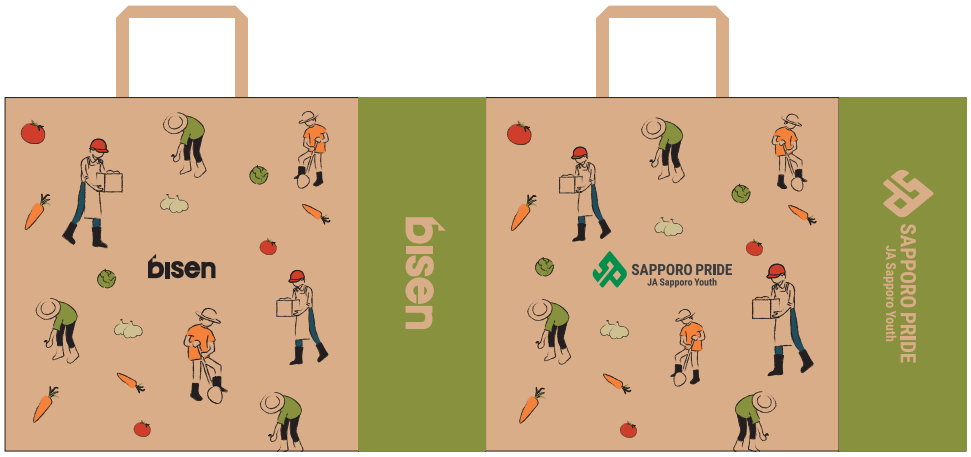
毎号、広報誌の表紙をやさしいイラストで彩ってくれている、北海道芸術デザイン専門学校(bisen)のみなさん。今回は産学連携の取り組みとして、ＪＡさっぽろの農業の魅力を地域へ届けるため、学生 38 名とともにオリジナルのショッピングバッグをつくりました。

青年部のみんなで想いを重ねて選んだひとつのデザインがカタチになり、2026 さっぽろオータムフェストのファーマーズマーケットにて、限定 1,000 枚の特別な贈り物として手渡されました。

特集では、ひとつひとつの農産物への愛おしさと、大地に向き合う生産者への深いリスペクトが込められた、個性豊かな 38 作品のデザインすべてをご紹介。若い感性が描いた、農業のカタチをどうぞごゆっくりご覧ください。

JAさっぽろ青年部×bisen　紙袋デザイン案

採用



猪俣 夢子さん

今回は野菜だけではなく生産者に焦点を当てたデザインにしてみました。
野菜を作る上で一番大切なのは作り手、管理をしたり収穫したり自然の天候に左右されず毎日コツコツ丹精込めて作ってくれているというメッセージを込めて制作しました。

北海道新聞(9月30日付)に掲載していただきました。





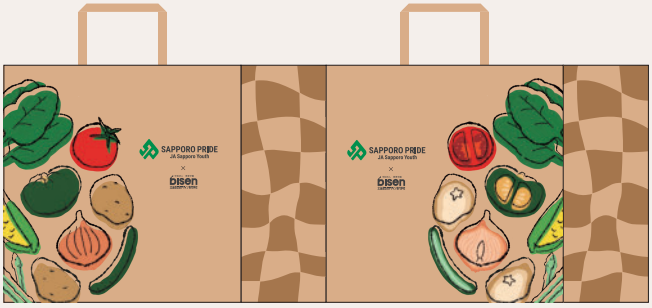
浅井 結羽さん

ステンドグラスのような配色でまとまりを意識しました。背面は大胆な文字だけの情報で伝わるように最大限に札幌の野菜をアピールできるようにしました。



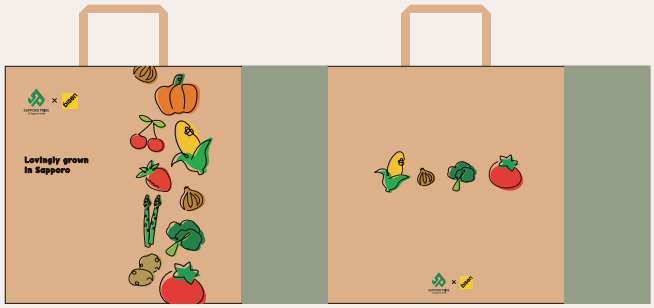
青田 佳恋さん

玉ねぎ、トマト、カボチャの三つの色とりどりの野菜を、表は通常の何も施されていない状態、裏面は野菜の断面にして二面性を持たせました。



佐藤 陽妃さん

一見シンプルな野菜のイラストに見えるが、裏を返すと野菜たちの綺麗な断面が見えるという遊び心を出したデザイン。持ち歩いて裏返しになっても可愛く、面白くを心がけて制作しました。



大塚 美咲さん

札幌で愛情込めて育てられた野菜たちを、ショッピングバッグを通して人と野菜を繋げたいという想いを込め、一筆書きのイラストで表現しました。シンプルな形で楽しい印象にしています。



庄子 壱清さん

前向きさと愉快さを特に取り入れたデザインにしました。野菜にも多様な色、形など個性があり、人も同じくさまざまな個性が集まって札幌というひとつの都市を作り上げていく。そんなイメージで作成しました。



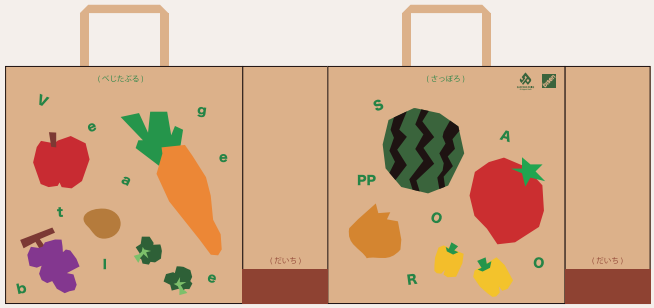
小川 実莉さん

札幌の野菜たちを主役に、野菜そのものの存在感や迫力が伝わるデザインにしました。黒い輪郭で描くことで一つ一つの野菜を際立たせ、力強く印象に残るショッピングバッグになるよう仕上げました。



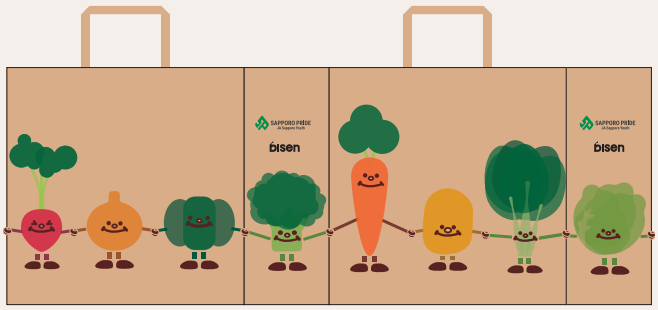
田村 姫菜さん

ＪＡさっぽろで生産されている野菜をモチーフに、それぞれの形を図形っぽく表現しました。落ち着いた色味でまとめることで、クラフト紙に馴染む使いやすいデザインを目指しました。マチの部分には野菜の断面を図形として取り入れました。



尾村 琉希哉さん

ビジュアルはどんな方にも親しみを持ってもらえるように崩した感じのパスイラストで仕上げ、テキストの配置を散りばめることで見た人に楽しげな印象を与えるように作成しました。



土谷 莉央さん

札幌の農家さんたちが手を取り合って育てた野菜が人と人を繋ぎ、生産者も消費者も、札幌の農業に関わるすべての人が笑顔になれるようにという願いを込めてデザインしました。また、袋を横に並べると、さらに手が繋がって見えるようになっています。



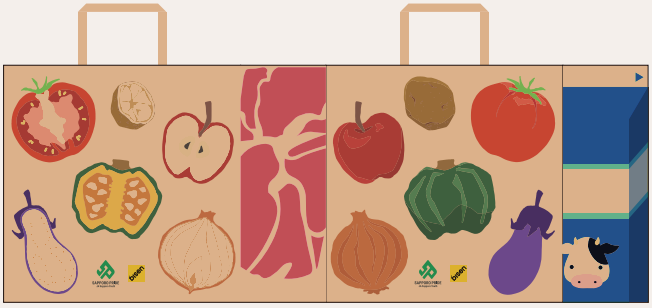
桜木 紬さん

表面にはカクカクとした形で野菜を表現し、札幌の農産物を配置しました。裏面には農家さんの手によって、大切に野菜が育てられていることを表現しています。野菜の恵みと、育てる人の想いをひとつのショッピングバッグに込めました。



馬場 美冬さん

札幌の美味しい野菜をイラストで表現し、バッグ側面の波系は畑の畝をイメージしました。ＪＡさっぽろ様のロゴカラーのグリーンと bisen のメインカラーイエローを主に使用し、コラボレーションであることが分かりやすく、かつ札幌の農業の前向きな雰囲気が伝わるようなデザインを制作しました。



長﨑 楓花さん

つい、くるくると回して見てしまうような、どの面を見ても楽しいデザインを考えました。クラフトの地色も見せつつ、色鮮やかに感じられるよう意識しています。野菜や果物の断面がみえるようなデザインは、子供が野菜に興味をもつきっかけになるといいなと思い、採用しています。



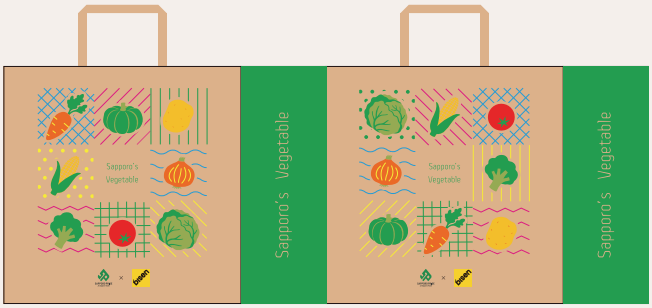
福世 栞那さん

札幌で育った新鮮な野菜の形をそのまま活かし、ざらざらのテクスチャとドットを重ねることで、素朴で温かみのあるデザインにしました。一部に野菜本来の赤色や緑色も使用することで、寂しくなりすぎないようにしつつ、親しみやすい印象になるようにしました。



丹羽 琴音さん

野菜のイラストをＪＡさっぽろの形にクリッピングマスクをして、ロゴの中に野菜がたっぷり詰まっているようなデザインにしました。野菜をそのまま書くのではなくカラフルで抽象的なイラストにすることで、ポップで可愛らしく親しみやすい印象に仕上げました。



藤森 つばささん

札幌で育つさまざまな野菜を、親しみやすいイラストで表現し、老若男女問わないデザインにしました。メインカラーの緑は、豊かな自然と採れたての野菜の新鮮さを表現しています。野菜の色彩を活かした明るいデザインで、持つだけで気分が上がるようなショッパーを目指しました。



橋本 紗季さん

持って歩く人も楽しく、見かけた人も気になるようなデザインを意識し野菜を大きく配置したレイアウトにしました。さっぽろで大切に育った野菜であることから親しみやすさを連想し子供が見てもわかるようなわかりやすい形で温かみが感じられるように野菜を描いています。



八木沢 咲さん

説明を受け、野菜を実際に見て農家さんの野菜に対する愛情を感じました。表面は多種多様な野菜たちを、「全ての野菜に愛情を込めて」というフレーズを側面と背面に配置しました。この紙袋をそのまま捨てずに使ってもらえるよう、カラフルでオシャレなデザインを意識しました。



畠山 かのさん

表には札幌で採られている代表的な野菜を円の中に配置しました。また、反対側にも同じ配置に、野菜の断面のビジュアルをデザインすることで、表と裏の差別化をしました。全体的にシンプルで余白を多く使うことによって、親しみやすさとあたたかさを印象づけました。



奥塚 咲稀さん

コンセプトは野菜の詰め放題です。野菜の詰め放題でたくさんの野菜が袋いっぱいに詰め込まれている様子をイメージしています。野菜の種類は札幌市で主に栽培されているものたちです。そして表面の中心にいる鳥は札幌市の鳥であるカッコウです。背面には米の稲穂を配置しています。側面にはサッポロプライドのロゴをパターンとして使用しています。



若林 杏奈さん

色数を少なく 3 色だけで制作しました。札幌で栽培されている野菜のみで構成しています。手書き感のあるテクスチャを入れて温かみを演出しました。オレンジが目立ち、明るい雰囲気と秋っぽさがあるデザインです。



掛川 花凛さん

ＪＡさっぽろさんの動画にあった「紡ぐ」という言葉から、糸をテーマに作成しました。表側は、少量多品目であることを意識し、ＪＡさっぽろさんで育てている野菜をバランスよく配置しました。裏側は、朝採れで、新鮮であることを表現するために、トラックで野菜たちを運んでいるポップなイラストにしました。



上井 真依さん

色数を 2 色に抑え、大人っぽいデザインになるよう意識しました。正面で畑の様子をモチーフにすることで、去年との差別化を図っています。ですが、野菜の要素も必須だと思ったので、裏面に配置しました。テクスチャを用いて、味のあるイラストを目指しました。



佐藤 羽菜さん

野菜のイラストをあえてゆるいタッチで描き、親しみやすく、手に取りたくなるようなデザインにしました。配色にはメリハリをつけながらも、全体的に落ち着いた色合いでまとめています。普段の買い物でも使いやすく、野菜の楽しさや親しみやすさが伝わるショッピングバッグを目指しました。



大坂 さくらさん

ＪＡさっぽろさんの説明に出てきた、カボチャ・トマト・玉ねぎ・ほうれん草・イチゴをモチーフにデザインしました。野菜に表情を加え、親しみを感じるイラストに仕上げています。手作りならではの温かさを感じられるデザインを目指して制作しました。



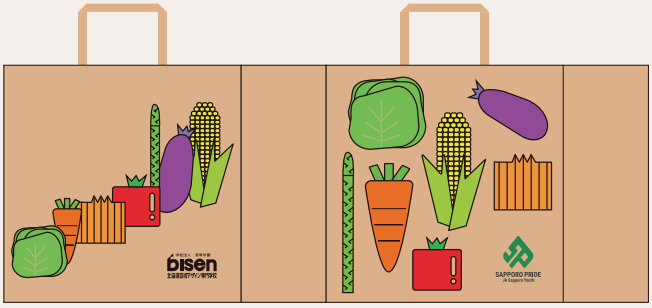
志田 彩音さん

余計な装飾を加えすぎずに、野菜そのものの形と色で一目で扱っているものがわかるデザインにしました。表裏はモノトーンでまとめることで落ち着いた印象を持たせ、側面のみに鮮やかな色を使用することで持つ人を選ばないデザインを目指しています。



大嶋 芹采さん

ＪＡさっぽろで生産されている野菜を、手描きタッチのラフな絵柄で親しみやすく表現しました。袋のアウトラインを描き、野菜が入っている様子を表現することで、紙袋の中身が見えているかのようなユニークなデザインに仕上げました。また、オレンジをメインカラーに使用することで、フレッシュで親しみやすい印象を目指しました。



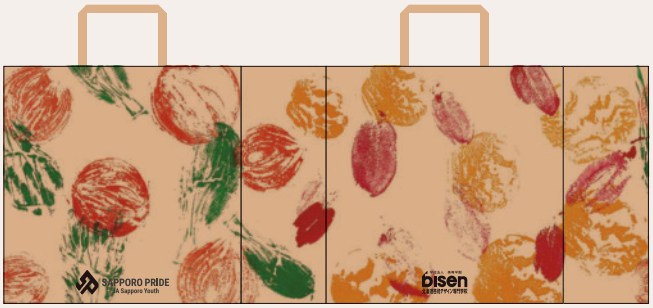
千代谷 竜司さん

様々な層に気に入ってもらえるような、可愛らしいデザインを目指しました。野菜たちがキレイに整列しているというあまり無いアイデアと、野菜をドットらしい感じで描くという工夫も施しました。



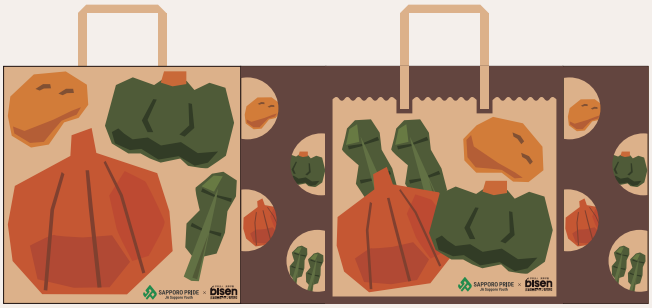
高橋 晴天さん

JA SAPPORO の特徴でもある " 鮮度 " に焦点を当て制作した。カラーは見た目でわかる色味の鮮度、グレースケールでは断面で見える中身の鮮度を表現した。



豊川 七星さん

実際の野菜(小松菜、玉ねぎ、じゃがいも、トマト)をスタンプにして、紙袋のデザインに使用しました。野菜それぞれの形や色、スタンプのかすれを生かすことで、手作りの暖かさを表現しています。また、一つひとつ違う野菜の形から、生産者が大切に育てた野菜の個性を感じられるデザインにしました。



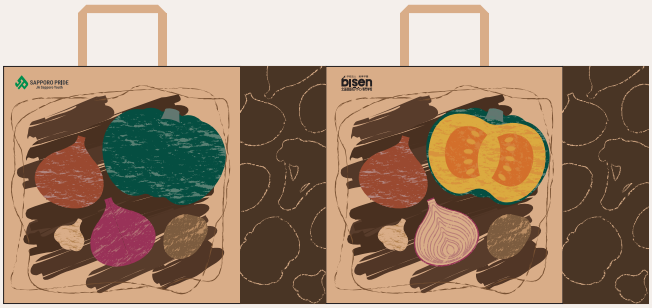
高村 小優希さん

デフォルメした野菜を散りばめました。裏面にはショッパーの中にショッパーがあるようなデザインにし、中にＪＡの野菜が入ってることをひと目でわかるようにしました。側面は野菜が覗いてる様なデザインにしました。



鳴島 明泉さん

野菜のオブジェクトの線を鉛筆のような線にすることで紙袋と親和性を持たせています。さまざまな野菜を取り扱っているので多くの種類の野菜を散りばめ、緑色を多めにし、新鮮な野菜を演出しました。表側はカラフルな野菜にし、裏面を一色にすることで二度楽しめるようにしました。



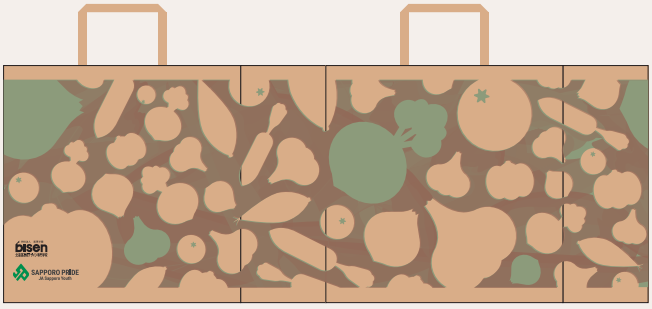
竹内 萌華さん

表面にはそのままの状態の野菜をデザインし、裏面にはレイアウトはそのままに切った状態の野菜をデザインしました。そうすることにより、見た目だけではなく中身の美味しさまでこだわって作られていることを表現しました。



森 柊衣瑠さん

おしゃれでつい持ち歩きたくなるようなデザインになるよう意識して製作しました。 ＪＡさっぽろ様が主に扱っている野菜をメインにイラスト化し、英語の名前を添え、大人向けのデザインになるよう意識しました。また、側面は特に玉ねぎを推したいと思ったので玉ねぎの成長をアイコン化してみました。



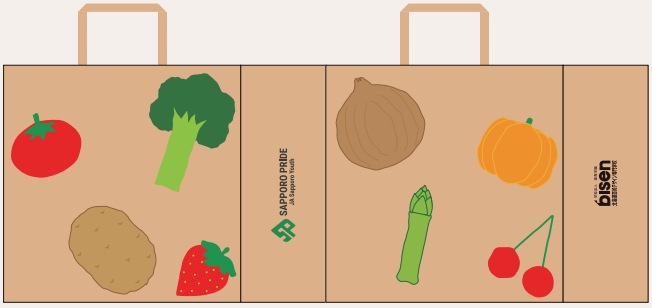
館坂 奈那美さん

野菜のシルエットを大小様々に配置し、シンプルで誰でも持ち歩きやすいデザインになるようにしました。ラフ感のあるテクスチャをつけることで、野菜の手作り感や温もりも感じられるように工夫もしました。



両谷 心晴さん

札幌で採れる代表的な野菜のイラストを規則的に並べたデザインにしました。秩序のある綺麗でシンプルなレイアウトで、遠くからでも見やすくすることを意識して制作しました。



森田 柚月さん

ＪＡさんが育てている作物だけを選び、それぞれの大きさをそのままで入れるのではなく、あえて変えて綺麗に並べないことで野菜たちが新鮮で元気だから飛び出しているということを表現しました。



山本 咲太朗さん

表と裏を活用したデザインを作成しました。表面は野菜、裏面は野菜がカットされた時の断面になっています。また、表面と裏面では野菜が反転しています。紙袋の横も同様です。

JA SAPPORO×bisen JANGURI PROJECT



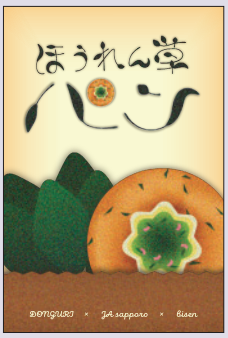
大麻店
大塚 美咲さん



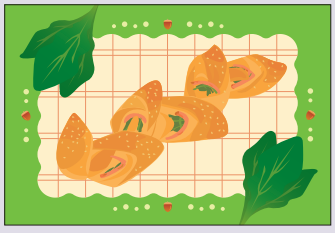
アリオ店
大坂 さくらさん



西岡店
上井 真依さん



大通店
八木沢 咲さん



新さっぽろ店
若林 杏奈さん

JANGURI
JAさっぽろ×DONGURI

地域と食、そしてアートがつながった
「JANGURIプロジェクト」

bisenの学生が彩った、ポーラスターパンの特製ポストカード

ほうれん草「ポーラスター」を使ったパン５種類に合わせて、特製ポストカードもデザインしていただきました。５店舗それぞれのパンに合わせた個性豊かなデザインで、美味しいパンとともに学生さんのクリエイティブな世界観をお届けすることができました！

おいしいパンの向こう側に、札幌の畑が見えてくる。
～地域を愛するふたつの心が紡ぎだした約束～

札幌の豊かな土地で農家さんが大切に育んだ「今が一番おいしい旬の味覚」。その採れたての魅力を、焼きたてのパンという形を通して皆さまの食卓へ直接届けたい――。そんな想いから、どんぐりとＪＡさっぽろの共同の取り組みが始まりました。

私たちがパンにのせて届けたいのは、札幌の農業の「今」と「未来」や地域を支える農家さんの温かい想いです。

このパンが末永く皆さまに愛され、札幌の街になくてはならない味わいのひとつとなることを願っています。そしてこの取り組みが、皆さまにとって札幌の魅力を再発見する新たな気づきや温かい出会いのきっかけとなりますように。

どんぐり(株)／ＪＡさっぽろ

裏面デザイン



JAさっぽろ女性部 役員研修ツアー 2026

長い歴史と伝統を守りながら、食農教育や地域の助け合い活動など、多角的な取り組みを展開している女性部。現在285名の部員が所属し、地域に深く根ざした活動を続けています。今回は、その中心となって組織を牽引する本部役員の今年度上期の取り組みを一挙にご紹介します。

日帰り研修ツアー

旬の地場農産物と出会う！笑顔あふれる札幌&江別めぐり

シャキシャキの朝採り野菜に、名門ホテル特製の濃厚チーズケーキ、そして想いの詰まった絶品スープカレー……！8月20日、JAさっぽろ女性部役員22名をはじめとする総勢28名が、地域の食と農業を丸ごと体感する研修ツアーへ出かけました。
温かいおもてなしと地元農産物の美味しさに包まれた、笑顔いっぱいの1日の様子をたっぷりご紹介します♪



小林 祐美さんがつくった
ガーリックブレイドを
かけた じゃんけん大会



嶋部長の挨拶からスタート！

令和8年8月20日(木)

総勢28名

参加者…女性部役員 22名
事務局 2名
おくしばぁちゃんスタッフ 4名

START

8:30 小松菜スムージー体験

ホクレン渋谷課長ご協力！今村農園の朝採り新鮮小松菜×808 アロハカフェコラボスムージーで元気をチャージ！





8:45 JAさっぽろ本店 出発

総勢28名で大型バスに乗り込み、ワクワクの研修ツアーへいざ出発！



1 9:45 小林農園やさい直売所
新鮮野菜の買い出し＆自慢の旬野菜をお土産にゲット！農園のこだわりを体感！

2 10:45 ヴェール農場
坂東拓也さんのご案内で札幌黄の圃場を見学！伝統野菜への想いや自家採種の貴重なお話に感動。特製「札幌黄キッシュ」も堪能♪

3 11:15 キタイチゴ農園
自然豊かな農園見学＆オシャレな空間で広大な景観とイチゴ農園の魅力を体感！

4 11:20 小林牧場
循環型酪農の牧場施設見学＆名門ホテルコラボのチーズケーキお土産！

5 13:00 スープカリーおくしばぁちゃん
【昼食】部員が育てたオール地場産食材の限定コラボスープカレーに舌鼓！

6 15:20 d.fd for mireica
「みれい菓」直営店で、濃厚×あっさりの「こっさり系」絶品ソフトクリームタイム！

GOAL

16:05 JAさっぽろ本店 到着・解散

お土産と笑顔がいっぱいの1日！
本当にお疲れ様でした♪



お土産
レタス
春菊

1 直売所 小林農園やさい直売所

札幌市厚別区厚別東２条１丁目１

採れたてシャキシャキ！ 地域に愛される旬の野菜の直売所

厚別区の新鮮野菜の拠点。５種類のレタスをはじめ収穫されるフレッシュな野菜がズラリと並び、地元住民や遠方からのファンで賑わいます。ツアーでは女性部の小林祐美さんの農園のこだわりをお聞きし、朝採りのレタスや香り高い春菊など自慢の旬野菜をお土産に受け取りました。



小林 祐美さん

参加部員のリアル Voice♪

シャキシャキの朝採りレタスに大興奮！小林さんの野菜への情熱が伝わり、爆買いが止まりませんでした♪

2 伝統野菜圃場 ヴェール農場 江別市角山

札幌伝統野菜「札幌黄」への情熱！ 自家採種のネギ坊主と圃場見学

お土産
札幌黄
キッシュ



坂東 拓也さん

キタイチゴ農園の前に訪れたヴェール農場では、坂東拓也さんの案内で「札幌黄」の圃場を見学。札幌伝統野菜である「札幌黄」を守り繋ぐ熱い想いや、自家採種(種採り)を行なっている大変貴重な「札幌黄のネギ坊主」についての解説に引き込まれました。玉ねぎの濃厚な旨味を閉じ込めた特製「札幌黄キッシュ」のお土産も大好評！





参加部員のリアル Voice♪

坂東さんの札幌黄にかける想いや、自家採種のネギ坊主のお話に感動！特製キッシュも玉ねぎの甘みが濃厚で最高でした♪



3 農園&カフェ キタイチゴ農園

江別市角山 442-11

広大な自然の中で楽しむ、イチゴと地場農産物の魅力



広い敷地でイチゴをはじめとする様々な農産物を育てる自然豊かな農園。オシャレなカフェスペースも併設され、北海道らしい広大な景観を楽しみながら、農園の取り組みやこだわりの栽培方法についてじっくり体感しました。

参加部員のリアル Voice♪

北海道らしい広大なロケーションに癒やされました。農園のこだわりや自然の恵みをたっぷりと満喫できました！

4 循環型酪農 有限会社 小林牧場 江別市西野幌 668 番地

高品質な生乳を届ける、伝統と革新が融合する循環型酪農の牧場

お土産
小林牧場チーズ使用
札幌グランドホテル
特製チーズ
ケーキ





小林 智行さん



スペシャルゲスト
小林 ヨシ子さん

牛の健康管理と良質な土壌づくりを追求し、高品質な生乳を生産する約 100 年続く伝統ある牧場。当日は牧場をバスで巡りながら小林智行さんがガイド。さらにサプライズで小林ヨシ子さんも駆けつけていただき、車内は拍手喝采となりました！



参加部員のリアル Voice♪

小林さんのガイドに拍手喝采！名門ホテル特製のチーズケーキも濃厚で、ほっぺが落ちそうでした♪







5 SPECIAL LUNCH

スープカリー奥芝商店 おくしばぁちゃん

札幌市中央区宮の森1条10丁目7-20



元気を届けるおばあちゃん達が迎える割烹風スープカレー店

今回は女性部員が手塩にかけて育てた「オール地場産食材」の限定スペシャルカレーを特別に作っていただきました！おばあちゃん達の温かいおもてなしと、自分たちの愛情こもった食材が織りなす最高のスープカレーに大満足♪

使用された地場産食材＆愛を込めて育てた生産者の皆さん

- **切干大根**：荒井 三和さん
- **馬鈴薯**：長峯 絹子さん
- **ほうれん草**：吉田 朝子さん
- **たまねぎ**：横山 静江さん
- **ズッキーニ・茄子**：丹羽 恵子さん
- **絹さや・スナップ**：後藤 ゆかりさん
- **ミニトマト**：小池 千里さん
- **ベーコン**：古川ポーク
- **しいたけ**：清茸
- **お米**：ＪＡさっぽろ産

6 スイーツ&カフェ

ディードットエフディーフォーミレイカ

d.fd for mireica

札幌市西区発寒12条2丁目8-30

3時のスイーツ ソフトクリーム



洋菓子「みれい菓」直営！ コクとアッサリの後味「コッサリ系ソフトクリーム」

人気洋菓子メーカー「みれい菓」が展開する直営店。北海道産の厳選素材を使用したソフトクリームは、濃厚なコクがありながらも後味はあっさりとした「こっさり」味が魅力。研修の締めくくりにぴったりの贅沢で爽やかなひとときを堪能しました。

参加部員のリアルVoice♪

濃厚なのに後味スッキリの絶品ソフト！研修の最後にみんなでワイワイ食べて、最高のごほうびでした♪

女性部活動レポート

【たまねぎフェア】女性部特製「オール札幌産豚汁」339杯がわずか1時間で完売！

令和8年9月21日(月) 記念すべき第5回目を迎えた大好評企画

「たまねぎフェア」にて、毎年恒例となった女性部特製豚汁の販売が行なわれました。節目の5回目を迎えた今回も開始早々から大盛況となり、準備した339杯がなんとわずか1時間で完売！完売後も多くの方が訪れるなど、イベントの目玉としての存在感をいかんなく発揮しました。当日は本部役員16名が笑顔で来場者をお出迎えしました。





大盛況の販売現場の様子



具だくさんの特製豚汁

大反響！来場者の声

毎年この豚汁を楽しみに来ているのよ。今年も本当に温まって美味しい！

初めて食べたけれど、野菜の旨味がたっぷり詰まっていて、もう一杯食べたかった！来年も豚汁目当てに来たいです。

おいしさの秘密 すべてが地元・札幌の恵み！

札幌黄(伝統野菜)　札幌白ゴボウ(伝統野菜)　長ネギ
小松菜　人参　古川ポーク　大根　馬鈴薯

研修旅行 体験レポート

東海・伊勢ワクワク旅！

伝統の技・パワースポット・最新リゾート巡り

令和8年6月10日(水)～12日(金)［2泊3日］

日本の食を支える「伝統の醸造技術」と「2000年の歴史をもつ神域」、そして「食と健康」をテーマにした最先端リゾートをまるごと満喫した充実の3日間！1300年続く長良川の鵜飼鑑賞や職人さんによる特別講習、おいしい伊勢グルメまで、学びと楽しさがギュッと詰まった最高の大人の社会科見学になりました♪



DAY 1 6月10日(水)

伝統の技に感動＆金運アップ！幻想的な鵜飼の夜

ミツカンミュージアムの見学

ミツカンの酢づくりの歴史や醸造の工夫を楽しく学べる体験型の施設！

映像や展示が充実しており、食文化の魅力を見て、触れて、学ぶことができました。

金神社＆鵜飼体験

キラキラ輝く黄金の鳥居で金運アップを祈願！夜は長良川で1300年続く幻想的な「鵜飼」を間近で満喫しました。







DAY 2 6月11日(木)

伊勢の神域参拝＆最先端のおしゃれリゾートVISONへ！

伊勢神宮＆おかげ横丁

荘厳な伊勢神宮(内宮)で心を清めた後は、おかげ横丁で名物「伊勢うどん御膳」に舌鼓！



最先端の美しい村 VISON

食・農・健康がテーマの巨大リゾート！

産直マルシェでお買い物や日本の食文化アートなど、新しい魅力を発見。





DAY 3 6月12日(金)

伝統みりんの奥深さを学ぶ＆産直テーマパークへ

角谷文治郎商店(特別講習＆見学)

江戸時代から続く元祖みりんの蔵を見学！

職人さん直伝の特別講習で、料理が格段に美味しくなる秘密を伝授♪



熱田神宮＆げんきの郷

熱田神宮参拝の後は、大人気の「げんきの郷」へ！地域の食と農が結びつく賑やかなマーケットを体感しました。

ココが最高だった！旅の4大ポイント

- **伝統を知る鵜飼**：1300年受け継がれる長良川の歴史と幻想的な雰囲気にうっとり！
- **神社参拝**：黄金の鳥居「金神社」と由緒ある「伊勢神宮」でパワー＆金運チャージ！
- **最先端の美しい村 VISON**：食と農の最新トレンドが詰まったおしゃれ空間をのんびり散策！
- **伝統のみりんを見学＆特別講習**：角谷文治郎商店の蔵見学＆職人さんの特別講習で醸造文化の深さに開眼！

7/10(金)

女性部厚別支部
日帰り研修旅行

女性部厚別支部では、部員20名と事務局3名が参加し、ニセコ方面への日帰り研修旅行を実施しました。

世界のお茶専門店「ルピシア」のレストランでのおしゃれなランチからスタート。直売所では、ここでしか買えない「ヴィラ・ルピシア」限定のお茶を手に取り、早速お買い物を楽しみました。続いて訪れたニセコのダチョウ牧場では、直接餌やりを体験。ダチョウの勢いに驚きつつも、その迫力に思わず歓声が上がるなど、新鮮な体験となりました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、移動のバスの中では会話が弾み、雨を忘れるほど終始賑やかで心温まる研修旅行となりました。

（須澤特派員）



餌を求めて、多くのダチョウが集まってきました。



女性部厚別支部集合写真（ルピシアにて）。

7/17(金)

青色申告会・資産管理部会
白石支部
合同視察研修旅行

青色申告会（越野泰蔵支部長）・資産管理部会（兼子和敏支部長）白石支部は部員14名・事務局3名が参加し、部会事業である合同視察研修旅行を実施しました。

本年度は石狩・当別方面の視察という事で当組合の米麦乾燥調製施設、ベジタブルファクトリーまた、ロイズカカオ&チョコレートタウン、北海道電力（株）石狩湾新港発電所を訪れました。

当日は天候にも恵まれ、当組合施設では麦の荷受け・ミニトマト・ブロッコリーの選果作業を見学。大田部長・樫山課長より施設の説明を受けました。各施設にて、職員の方の説明に対し多くの質問が寄せられました。

帰りのバスでは、今回の視察で見聞を広められた満足感とともに、早くも次回の研修旅行への期待に話が弾みました。親睦を深めつつ、充実した一日を締めくくることができました。

（石井特派員）





青色申告会・資産管理部会白石支部集合写真（北海道電力㈱石狩湾新港発電所にて）。

8/21(金)

役員OB会

定期総会を開催 懇親会で久々の再会に話が弾む

札幌市農協役員OB会（和田由美子会長）では、会員11名・役職員13名が参加し、ホテルマイステイズプレミア札幌パーク「うなぎ仲じま」にて第26回定期総会を開催しました。総会では、事業報告および収支決算など提出された議案はすべて満場一致で承認されました。総会後は懇親会が開催され、美味しい食事に舌鼓を打ちつつ近況や思い出話など会話も弾み、年明けの合同新年会でまた再会することを約束し閉会となりました。



役員 OB 会集合写真（うなぎ仲じまにて）。

8/22(土)

手稲支店

ていね収穫祭

手稲支店では、秋の味覚を堪能する「ていね収穫祭」を開催しました。当日は爽やかな秋晴れにも恵まれ、旬の農産物を求める多くの方々で賑わいました。

会場には、手稲名産の「サッポロスイカ」や「みやこ南瓜」をはじめ、地元産の新鮮な農産物が豊富に並びました。中でも毎年好評を博している「じゃがいも」と「たまねぎ」の詰め放題コーナーには最大で200名以上の列が出来、会場は熱気に包まれました。さらに、地元産南瓜を使用したパイなどの加工品販売に加え、キッチンカーによるパニーニやクレープの提供も実施。ご来場いただいた皆さまに手稲の秋の旬を心ゆくまでご堪能いただき、地域との絆をより一層深める実り多き一日となりました。（岩本特派員）





組合員・職員が連携しての野菜販売。



中には、袋からあふれだす方もいました。

8/26(水)

JAさっぽろ 野球部結果報告

JAさっぽろ野球部は、今シーズンの全日程を無事に終了いたしました。組合員の皆さまにおかれましては、日頃より温かいご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。

今シーズン最後の大会となった第64回全道JA野球大会では、一回戦で惜しくも敗退となり、悔しさの残る結果となりました。これまで応援してくださった皆さまに、あらためて感謝申し上げます。

この悔しさを糧に、今後もより一層精進してまいります。引き続き、ご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします！







今シーズンの各試合の様子。

今期の試合結果や大会の様子は、JAさっぽろのホームページでご覧いただけます。ぜひQRコードからチェックしてみてください。

（試合日程や更新作業の都合上、お時間をいただく場合がございます。あらかじめご了承ください）

9/3(木)～4(金)

琴似支店 琴似神社秋季例大祭

琴似神社秋季例大祭（祭典委員長：伊藤幸一様）において、この度、当支店の駐車場をお旅所としてご活用いただきました。

祭礼の際、神輿を担ぐ方々や地域の皆さまが足を休め、神輿が一時的に安置される大切なお旅所として、地域の伝統行事を支える一助となれたことを大変嬉しく思います。

地域の大切な伝統行事が無事に執り行なわれ、皆さまの笑顔や熱気あふれる姿を間近で拝見できたことは、私たちにとっても大変励みとなる出来事でした。

地域の皆さまの力で祭りが守り継がれていることに敬意を表するとともに、私たちもこうして地域行事に関わらせていただくことで、より一層地域の皆さまとの絆を深めていければと願っております。

（阿部特派員）



伝統ある神輿の前での記念撮影。



神輿を前に、地域と祭りの安全を祈念する伊藤祭典委員長。

理事会だより

第5回定例理事会

令和8年8月28日(金)午後1時00分より、本店3階役員会議室において、定例理事会が開催された。

●協議事項

1、『給与規程』の一部改正について

近年の物価高騰等や中途退職者抑制、および職員の労働条件改善を考慮した所要の整備である旨が説明され、可決決定。

2、『共済規程』の一部変更について

自動車損害賠償保障法施行規則の一部を改正する省令の施行、および現行実務との整合等を図るための所要の整備である旨が説明され、可決決定。

●報告事項

1、地区別懇談会の開催日程について

2、共同利用施設(ひばりが丘)建替え工事にかかる入札結果報告

3、JA財務モニタリング並びにJA体制整備モニタリングに関する報告について

4、令和7年産 全期共計玉葱最終精算について

5、農作物作況報告

6、7月末財務状況報告

7、7月末組合員加入・脱退状況報告および未済持分譲渡報告

8、8月の動静と9月の予定について

(閉会 午後2時26分)

JAさっぽろDATA

		令和8年8月末業務実績	令和8年7月末業務実績
組合員数	正組合員	3,642名	3,643名
	准組合員	33,953名	33,777名
合　計		37,595名	37,420名
出資金残高		68億4千8百万円	68億4千2百万円
販売取扱高		13億8千2百万円	7億2千8百万円
購買供給高		15億6千5百万円	13億2千万円
貯金残高		3689億7千9百万円	3683億5千1百万円
融資残高		1138億7千7百万円	1139億4千9百万円
共済保有高		6230億2千9百万円	6216億8千2百万円
施設建設取扱高		0百万円	0百万円
管理受託戸数		4,754戸	4,754戸

令和8年度
第2回地区別懇談会のご案内

左記の日程で令和8年度の第2回地区別懇談会を開催いたします。

組合員の皆さまは、開催前にお届けする資料をご持参のうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

※詳細は支店よりご案内させていただきます。

開催日	地区名	開会時間	会場
11月17日(火)	中央	9:30～	本店3階大会議室
	北札幌		北札幌支店会議室
	南	14:00～	南支店会議室
	豊平		清田区民センター
11月18日(水)	白石	9:30～	白石支店会議室
	手稲		手稲支店会議室
	西町	14:00～	西町支店会議室
	厚別		厚別支店会議室
11月19日(木)	琴似	9:30～	琴似支店会議室
	篠路		篠路支店会議室
	新琴似	14:00～	新琴似支店会議室
	石狩八幡		石狩八幡支店会議室
11月25日(水)	平岸	9:30～	平岸支店会議室
	石狩花畔		花畔中央会館



JAさっぽろ × bisen

学生応援プロジェクト vol.4

札幌市南区・果樹園で出会う果実と感性の新ストーリー



／ 砥山ふれあい農園 ＼

有志の学生たちと歩んできたプロジェクトも、今回で第４弾。
今回は舞台を、豊かな自然と恵まれた果樹園が広がる「札幌市南区」へと移しました。まず訪れたのは「砥山ふれあい農園」。瀬戸エミーレさんエスコートのもと深い甘みを蓄えたプルーンや、太陽を浴びて色づくリンゴを見学しました。続いて訪れた「田中果樹園」では、枝いっぱいに実を実らせた芳醇なブドウと出会いました。園内に漂う甘く豊かな香りと、完熟を迎えた果実たちの鮮やかな美しさに、学生たちからは思わず感動の声がこぼれます。土と太陽の恵みを一身に浴び、手塩にかけて育てられた果樹たちの力強さ。その瑞々しさを肌で感じ取った学生たちの自由な感性が、新たな彩りとなってこの１冊の表紙を飾ります。

＼ 田中果樹園 ／









今月の表紙イラストを描いてくれたのは…

「虹の大樹」を彩る、未来のクリエイターをご紹介します！

ＪＡさっぽろ「農」デザイン・ラボ



北海道芸術デザイン専門学校（bisen）
グラフィックデザイン専攻

長﨑（ながさき） 楓花（ふうか）さん

今回はぶどうやプルーン、りんごなど、さまざまな果樹を砥山ふれあい農園、田中果樹園で視察させていただきました！園内はどこも空気が澄んでおり、豊かな緑に囲まれて育てられている様子が印象的でした。札幌市内でこのような果樹園がみられることにも驚きました。また、一見すると細く小さく見える一本の木に、たくさんのりんごが実っている様子も、とても印象に残っています。こうした視察を通して感じたことを作品にも取り入れたいと思い、りんごをメインにしながらも果実の鮮やかな色合いや農園の綺麗な景色をイメージした、優しい配色を意識して制作しました！

虹の大樹 ●10月号 令和8年10月9日 ●October 2026 編集・発行／札幌市農業協同組合
〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号 TEL011-621-1311
ホームページ https://www.ja-sapporo.or.jp/ Eメール kouhou@ja-sapporo.or.jp

JAさっぽろ